

Classic Nagoya  
クラシック名古屋  
〒460-0024  
名古屋市中区正木西丁8番7号れんが橋1F  
TEL:(052)678-5310 FAX:(052)678-5330  
http://clanago.com

プレイガイド  
アイチケット  
☎0570-00-5310

# ナゴヤ劇場ジャーナル

◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

MP MANAGEMENT PRO  
①舞台イベントの企画制作・マネージメント  
②芸術コンサルティング  
③タレントのマネージメント  
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行

株式会社 マネージメント・プロ  
〒461-0004 名古屋市中区葵2-11-22 アバンテッジビル305  
TEL: 052-508-5095 FAX: 052-508-5097  
E-mail: mane-pro@mane-pro.com  
HP: http://www.mane-pro.com

「なごや芝居の広場」(主催・名古屋市民文化振興事業団、制作・いのこ福代)の第3回公演が12月に行われる。2018年から名古屋市民各々の文化小劇場で巡遊されている、地元俳優による演劇公演である。

第1回公演「誓いの詩」(6会場・全12公演)第

## 市民による市民のための演劇公演定着へ なごや芝居の広場 12月に第3回公演



佃 典彦 末吉 康治  
岡田 一彦 西尾 武  
中田 裕子 好 姫  
荘加 真実 黒河 内彩  
柴田 早苗 堀 優子

2回公演「ゼロの焦点」(5会場・全10公演)に続く今回は、男性俳優4人による「叔母との旅」、女優3人による「片づけたい女たち」の2作を、千種文化小劇場で相次いで上演する。

「叔母との旅」(原作 田村紀彦)は、人生の半ばを過ぎた高校の同級生3人の、本音と建て前が交錯する「同窓会」。3女性は

りな道中記。佃典彦、末吉康治、岡田一彦、西尾武の4人の俳優が20役以上を演じる奇抜な演出が見もの。上演は12月5-8日、全5回。

「片づけたい女たち」(脚本 永井愛、演出 和田紀彦)は、人生の半ばを過ぎた高校の同級生3人の、本音と建て前が交錯する「同窓会」。3女性は

## 五條園美「創の会」立ち上げ



「名古屋城天守物語」に向けての旗揚げ公演 (左から五條園八王、花柳磐優愛、工藤寿々弥、藤間豊雅路)

「さまざまな会派の舞踊家の、出会いと勉強の場が欲しい」。日本舞踊家・五條園美の思いが実を結び、このほど「芸能集団・創の会」が誕生。2020年12月の本公演「名古屋城天守物語」に向け、旗揚げ公演を行った(10月5日・千種文化小劇場)。

園美は「以前行われていた『金城おどり』『中京五流舞踊』に代わる催し物が欲しかった。昨年12月に花柳朱実さんが企画され、さまざまなジャンルの皆さんが参加された『納屋橋物語』が大ききヒントになりました」と志を語る。

園美が脚本、演出を依

## 来年12月に「名古屋城天守物語」

## セントラル愛知響のコントラバス奏者・榊原利修「エルム」に登場



榊原トリオ(右から利修、祐子、佳子)

「エルム」にユニークな

頼したのは「納屋橋物語」の作家でもある伊豫田静弘。伊豫田は名古屋城を舞台にした「名古屋城天守物語」の脚本作りに着手。単なる舞踊劇ではなく、城内に隠された金の延べ棒をめぐる演劇性の強いミステリーを構築。旗揚げ公演では、その導入部分を上演した。

出演(賛同者)は大嶽隆司、いのこ福代、工藤寿々弥、稲垣舞比、五條園八王、榊原ゆかりほか。演奏は長唄の杵屋三太郎、

原作・作詞:あおい英斗  
作曲・編曲・指揮:宗川論理夫  
構成・演出:右来左往

ミュージカル  
**キミのために 散る**

大田 瑛 日比野 景 他

12月18日(水) 名古屋芸術創造センター  
12月19日(木) 両日 18:45開演(開場18:15)

チケット料金 前売 6,000円/当日 6,500円  
1階席 高校生以下 3,000円(前売り・当日とも)  
[全席指定]

メニコンビジネスアシスト(MBA) イベント・クリエイション部  
Tel.052-935-1630 受付時間 平日10:00~18:00

## 名フィル来年度はベートーヴェン 6月に大曲「ミサ・ソレムニス」

名古屋フィルハーモニー交響楽団は、来年度(2020年4月5-21日)の定期演奏会の統一テーマを「トリビュート・トゥ・ベートーヴェン」に決め、小泉和裕音楽監督が抱負を述べた。

制作のいこのは「優れた脚本、演出、そして選りすぐられた俳優の競演は見応え十分。好評だった前2作を超える実績を上げ、市民による市民のための演劇を定着させた」と来場を呼び掛けている。

いづれも全自由席3000円、高校生以下2000円。TEL052(249)9997。

## 佳子は、半田を拠点に合唱指導やコンサートのプロデュースを展開する

加藤修滋プロデュース 平和希求ライブ<マチネ> 20th 特別企画

シャンソン歌手 ANNE LIZE アンヌ リーズ

2019.12.8 SUN

OPEN 14:30 START 15:00 CHARGE 5,000yen  
@ Café concert ELM 名古屋千種区吹上2-45



栗木 己義 小澤 寛 内藤美佐子 山口 未知 小嶋 彩子



死者と生者の交感をコミカルに描く「煙が目にしみる」12月13-15日東文化で名古屋の演劇人が贈る名作劇場

火葬場で語り合う2人の故人(幽霊)として故人を送るために集まった家族たち。悲しいはずのお別れが、とんだ大騒動に発展する。

名古屋の演劇人が贈る名作劇場「煙が目にしみる」(名古屋文化振興事業団主催)が12月13-15日、東文化小劇場で行われる。

堤泰之の脚本。1997年に初演され、以来、全国で繰り返し上演されている人気コメディ。家族を思う優しい心、死者と生者との熱い思いが笑いに込められ、観客の涙を誘う。キーパーソンになるのは、見えないはず

の故人の姿が見え、聞けないはずの故人の声を聞くことのできるおぼっちゃんだ。死者を演じるのは栗木己義(ジャブジャブサーキット)と小澤寛。おぼ

演劇ユニット「perky pants」の舞台「R.O.D.」(加藤智宏構成・演出)は、言葉(明読)と身体(ダンス)が見事に融合した上に、美術などで視覚を、音楽で聴覚を刺激し、75分間の濃密なファンタジーへと誘った。

平安時代末期の説話集『今昔物語』が題材の芥川龍之介の3作品『羅生門』『鼻』『敷島』の原文を讀み比べて、時空を超えた「ヒトの不変なる業を浮き彫りにしよう」と企画した舞台だ。

明読は男性3人、女性8人。紫堂恵がコーディネートを務めた。明瞭な発声と抑制の利いた感情表現が心地よく、情景はもうろん人物の精神性までが目の前に現れるよ

うな気さえずる。シニールで切れ味の鋭い動きが特徴のダンスのコーディネートは服部哲郎。男性3人、女性4人のダンサーたちは静と動、調和と不調和の対照を鮮やかに表

出し、空間を大きく支配する。斬新な美術・衣装はヨコヤマ茂未だ。簡潔美を追求した黒一色の舞台上は、天井から吊られた屍とも自然の草木とも見え

舞台批評

「R.O.D.」(今昔物語) 演劇ユニット「perky pants」の舞台「R.O.D.」(加藤智宏構成・演出)は、言葉(明読)と身体(ダンス)が見事に融合した上に、美術などで視覚を、音楽で聴覚を刺激し、75分間の濃密なファンタジーへと誘った。

「渦の中の女たち」 あいちトリエンナーレ舞台芸術公募プログラム「渦の中の女たち」(構成・演出・倉知可英)である。舞踊家、演奏家、美術家など14人の女性アーティスト

「回遊する五感」 名古屋洋舞家協議会のトリエンナーレ舞台芸術公募作品「回遊する五感」(構成・演出・野々村明子)を見た。

「かたりの椅子」 あいちトリエンナーレ開催中に行われた劇座の「かたりの椅子」(演出・岡田一彦を見た。売れっ子作家・永井愛の戯曲。地方都市で開催が決まったアートフェスティバルをめぐり、行政とアーティストの葛藤をコミカルに描いた群像劇。

観客はトリエンナーレで起こった「あの騒動」を重ね合わせて大爆笑。何ともタイムリーな脚本だが実はこれ、2010年に二兎社によって初演

された作品。いつの世も、芸術と行政は、相容れないものようである。優れた脚本は、劇座の優れた演出、俳優によって魅力が全開した。中でも際立ったのが行政側のトップ

を演じた尾藤涼和。末吉康治、天野鎮雄らの芸達者を相手に堂々の喧嘩役。人形劇のための小さなスペースを逆手にとって濃密な笑いの渦を巻き起こした岡田の演出も評価したい。

名古屋演奏家育成塾「ベストリスト賞」

第1位にピアニスト本多万祐子 2位に伊藤香紀、3位に古田友哉

17人が審査した結果、1位は本多万祐子、2位は伊藤香紀、3位は古田友哉と、いずれもピアニストが上位を占めた。1位に30万円、2位20万円、3位10万円の賞金が贈られた。

その他の賞は次の通り。▽入賞者 秀並雄二(ピアノ)、前川礼奈(マリンバ)▽審査員特別賞 島乃乃(チェロ)▽聴衆賞 古田友哉(ヴァイオリン) 村洋子(メゾソプラノ) 佐藤綾音(同) 下島万乃 古田汐里(フルート) 金田紗希里(ピアノ)

塚本洋子(アトール・ド・バレエカンパニー)が11月20日(午後6時30分)市民会館フォレストホールで開く「深川秀夫版・くるみ割り人形」公演に5組10人を招待する。希望者はA4用紙(B5も可)に住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、11月20日までにFAX052(508)5097、マネージメント・プロへ。

倉知を軸に女性14人の環が結実 ベルが鳴り、会場には緊迫した空気が張りつめた。公演の口火を切ったのは、五臓六腑を揺るがせるパイプオルガン(演奏・吉田文)の響き。コンサートホールならではのゴージャスで敵愾なオーブニング。

洋舞の祭典に芸創が熱く弾んだ 「回遊する五感」 名古屋洋舞家協議会のトリエンナーレ舞台芸術公募作品「回遊する五感」(構成・演出・野々村明子)を見た。

行政VS芸術家、あの騒動、再び 優れた脚本は、劇座の優れた演出、俳優によって魅力が全開した。中でも際立ったのが行政側のトップ

随所に工夫と試行錯誤の跡が見えた。倉知可英を軸に女性芸術家の環がつながり、公演に漕ぎ着けた意義は大きい。メンバーのオペラ公演が割愛された4度目のトリエンナーレで、最も印象に残る舞台公演だった。

9月23日・芸術劇場コンサートホール。動しながらダンスを楽しむ観客が移動することでエネルギーが発生し、それがダンサーの放つエネルギーと同化し、会場全

最も観客が沸いたのは、客席と舞台の区別がないロビーでのパフォーマンスだった。パレエは別として、立派な会場でのダンス公演がベストではないということだ。

9月29日・芸術創造センター。(ウエ)

わたなべこうじマンガ劇場



ストによるコラボレーション。「今こそ、女性は大陽である。」の渾然としたテーマはあったが、物語があるわけではない。この手の公演は参加者が多くなるほど、会場が大きくなるほど難しい。だがパイプオルガンの音響は、全編をまとめる上で大きな力を発揮した。

演者の個々の表現、それが2重3重にクロスした時の意外な効果と逆効果。コラボにはさまざまな発見があった。意外と言っては失礼だが、端唄・三味線(華房小真)の演奏が際立った。弦を弾く鋭い音、色艶のある語り口がコンサートホールの時空を一変させた。

第2部はコンテンツポラリ、パレエ、フラメンコ、ジャズ、モダンの5組のステージが本舞台で行われた。まさに洋舞家協議会が総力を挙げた公演だった。

第2部はコンテンツポラリ、パレエ、フラメンコ、ジャズ、モダンの5組のステージが本舞台で行われた。まさに洋舞家協議会が総力を挙げた公演だった。

9月29日・芸術創造センター。(ウエ)

演劇的、劇画的な脚色が奏功し

名古屋二期会

名古屋二期会のオペラ公演「ホフマン物語」(10月5、6日・芸術劇場大ホール)を見た。オッペンバックの作曲。詩人・ホフマンと、彼が愛した3人の(極めて個性的な)女性の物語。演出の中村敏一は、このオペラに演劇的、劇画的な脚色を加え、時代がかったグロテスクな人間ドラマを表出した。



中井亮一と佐渡真奈己(撮影・中川幸作)

在。演じたのは、三重を拠点に活動している佐渡真奈己。魅力的なコロラトゥーラと容姿、舞台上を動き回る人形振りもチャミングで、キラキラ輝いて見えた。

3女性のひとり、オラピア(実は人形)は、この作品のアイドル的存在。歌姫アントニア(岩田千里)。舞台上手にはプリマドンナだった母親の等身大の絵画があり、描かれた母親が動き出し、額縁からはい出した。まるで『貞子』である。母親を演じた守屋貴美子は演技賞ものだ。

おなじみの「熊ん蜂の飛行」は、この中で演奏される。歌はロシア語で字幕付き。若干の動きを付け、ピアノ伴奏(渡辺

ペラのスペシャリスト岡本茂樹だ。9月末にウクライナで公演された「カレルメン」でエスカミリーを演じ、帰国直後の出演である。力強いバリトンと鮮やかな立ち居振

る舞い、派手な衣装もドレッシングだった。3人目の女性、娼婦のジュリエッタ(天野久美)が登場するラストシーンでは、テーマ曲「舟歌」が歌われる。舞台背景に

は星空が浮かび上がり、すべての滑稽な出来事が帳消しにされる。人々の魂が浄化され、明日に向かって再生されたのである。(ウエノ)

「あいちトリエンナーレ2019」舞台芸術公募プログラム。いくつか見て感じたことがある。「今回の公演はとても充実していた」という声を耳にした。トリエンナーレならではの、通常ではできない企画。例えば、異なるジャンルのアーティストの共演。よくぞ集まったと思う大勢

奏に加え、ゲストの名古屋少年少女合唱団が、ロシア民謡を指揮も伴奏もなしで歌ったのが光った。

「あいちトリエンナーレ2019」舞台芸術公募プログラム。いくつか見て感じたことがある。「今回の公演はとても充実していた」という声を耳にした。トリエンナーレならではの、通常ではできない企画。例えば、異なるジャンルのアーティストの共演。よくぞ集まったと思う大勢

「あいの騒動」が、舞台公演に影響しないか、次回もやれるのか、危惧する人もいる。芸術を後退させてはならない。今後、優れた公演を期待する。トリ(永速ナレー! (上原宏)

舞台批評

「ものがたり」

オランダの劇団アルテミスとヘット・ザウデライク・トネルの「ものがたり」のものがたりは、ヴェネチア・ビエンナーレ演劇部門の銀獅子賞受賞作。あいちトリエンナーレ最終週の目玉に相応しい傑作だった(10月13日・芸術創造センター)。

ひしめき合う空虚なものがたり



「ものがたりのものがたり」(撮影・佐藤駿)



(撮影・連治昌宏)

©あいちトリエンナーレ2019

幕が上がる前からロビーや客席を「劇場の先住民」が歩き回り、観客の私物を狩猟していく。舞台上を奇妙なオブジェが移動する。ナレーショ

統領、ピョンセ、C・ロナウドの写真パネルだ。先住民、オブジェ、ものがたり、巨大な家族は、舞台でひしめき合い、言葉や音を発するの、交わりきれずにそれぞれの世界を続けていく。そして客席にせり出したり、何かを飛ばしたりと観客に干渉を繰り返す。

現代人は物語がなくなっただけで、何もしないことを恐れている。観客は驚き、笑いながら、の可能性も味わった。

アニメ的想像力で描くアラブ

「髭の幻」

博士号取得、現在はドイツを拠点に活動という異色の経歴を持つアーティスト。

8日・県芸術劇場)はトリエンナーレらしい複合的な作品。モニラは16歳でクウェートから日本に留学し、東京藝術大学で

同作は日本の霊能者に「40人の先祖の霊が取り憑いている」と透視された実体験から生まれた物語で、日本のアニメ・

「ものがたりのものがたり」(撮影・佐藤駿)

「髭の幻」(9月5日・県芸術劇場)

同作は日本の霊能者に「40人の先祖の霊が取り憑いている」と透視された実体験から生まれた物語で、日本のアニメ・

企画よし、アイデアよし、結果よし



「サルタン王の物語」のカーテンコール

ト形式だが、ロシア風の衣装によってオペラの雰囲気が出ていた。王と王妃、その王子と王妃となる白鳥が主人公のおとぎ話的な物語。前半は、やや盛り上がり、後半は蜂に化身した王子が活躍するなど、にぎやかで楽しめた。

まず金原聡子、寛真美子、木村洋子、永井秀司ら歌手陣が健闘。普通なら出番がない器楽奏者を、宮殿の演奏会の場で登場させるアイデアが、江頭摩耶、野村友紀、寛孝也らの高レベルな演奏に加え、ゲストの名古屋少年少女合唱団が、ロシア民謡を指揮も伴奏もなしで歌ったのが光った。

名古屋初演の珍しい作品を企画、制作し、うまくまとめた、画期的な公演と言える。(上原)

「あいの騒動」が、舞台公演に影響しないか、次回もやれるのか、危惧する人もいる。芸術を後退させてはならない。今後、優れた公演を期待する。トリ(永速ナレー! (上原宏)

4カ国のダンサー、民族色豊かに

佐藤典子プロデュース

ゲーム文化を思わせる映像表現や、ラクダのごぶなどをモチーフにしたオブジェ、アラブの古い詩などを混交させて、砂漠に生きる遊牧民の血塗られた歴史と、それを忘却して空白にしていくならアラブの歴史の紡ぎ方を明らかにする。モニラは、女性の姿、アラブ男性の伝統衣装姿、髭面の先祖たちに囲まれた現代人、さらにはオブジェとなり、様々な変化しながら表現していった。アラブ世界が持つ問題は、日本に暮らす私

「太陽の物語舞踊団」の5人のダンサーは民族色豊かなアンサンブルを披露。韓国「バレル」の5人は、子守唄をテーマに、母の強さと優しさを表出。中国の「浙江芸術学院」の7人は、拍子木を使った民族舞踊を披露し、喝さいを浴びた。「故郷の水

「あいちトリエンナーレ2019」舞台芸術公募プログラム。いくつか見て感じたことがある。「今回の公演はとても充実していた」という声を耳にした。トリエンナーレならではの、通常ではできない企画。例えば、異なるジャンルのアーティストの共演。よくぞ集まったと思う大勢

「あいの騒動」が、舞台公演に影響しないか、次回もやれるのか、危惧する人もいる。芸術を後退させてはならない。今後、優れた公演を期待する。トリ(永速ナレー! (上原宏)



(撮影・スタッフ・テス)

佐藤典子舞踊団「水の生理」(振付・大柴拓磨) 拍子木を使った民族舞踊を披露し、喝さいを浴びた。「故郷の水

「あいの騒動」が、舞台公演に影響しないか、次回もやれるのか、危惧する人もいる。芸術を後退させてはならない。今後、優れた公演を期待する。トリ(永速ナレー! (上原宏)

問奏曲

佳作そろった舞台芸術公募公演

の出演者。名古屋ではやったことのない演目など。意欲的な試みに、私も大いに満足した。まともな役は、さぞ大変だったろうが、その苦勞も報われる大きな収穫があったに違いない。毎回の課題は、限られた日程とホールでできるだけ多くの公演を

私たちは「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します

Advertisement for Danskate, featuring a QR code and contact information for purchasing tickets.

- List of names and organizations supporting the journal, including DanKite, Noriko Ballet Studio, and various dance academies.

会員募集

「ナゴヤ劇場ジャーナル」では発行をご支援いただけるサポート会員を募集しています。会費は年間6600円(税込)です。会員には小紙を毎月お届けするほか、紙面にお名前を掲載(希望者)...

# ヴィキングル・オラフソン

ピアノ・リサイタル

## ラモー×ドビュッシー×展覧会の絵

待望の来日公演決定!

program

**ラモー**  
クラヴサン曲集 組曲 木短調 より  
風のささやき、リゴードン1・II、ロンドー形式のミュゼット、  
タンブラン、村歌、ロンドー形式のジグ、ロンドー形式の第2のジグ

**クラヴサン曲集 組曲 二長調** より  
美しい誘え、つむじ風、ミュージスたちの慕い、喜び、17目の巨人

**ドビュッシー**  
スティリー風タランテラ  
子供の韻分 より 第4曲 雪は降っている  
前奏曲集 第2巻 より 第8曲 オンディーヌ  
ピアノのために  
前奏曲集 第2巻 より 第5曲 ヒースの夜を覚れ地

**ムソルグスキー**  
組曲「展覧会の絵」

※ラモーとドビュッシーの演奏量は  
アーティストの意向により変更になる場合がございます。  
ヴィキングル・オラフソン (ピアノ)

### ヴィキングル・ショック! 欧米で話題騒然!

BBCマガジン「アルバム・オブ・ザ・イヤー」「ベスト器楽アルバム」W受賞  
VIKINGUR ÓLAFSSON RECEIVES "RECORDING OF THE YEAR" & "INSTRUMENTAL" AWARDS AT BBC MUSIC MAGAZINE AWARDS 11/4/2019

# VÍKINGUR ÓLAFSSON

2019年 **12月6日(金)** 19:00開演 (18:30開場) **電気文化会館ザ・コンサートホール**

全席指定(税込) 一般 5,500円/U25 2,000円

9月21日(日) 発売開始

お問い合わせ 東海テレビ放送 事業部 052-954-1107 (9時10分~18時00分)

東海テレビイベント 特設

主催 東海テレビ放送、エイベック、クラシック名古屋、インターナショナル  
共催 電気文化会館、東海テレビ放送、クラシック名古屋、クラシック名古屋・インターナショナル  
協賛 クラシック名古屋、制作協力 インターネット

※チケットの譲渡・転売は、主催者が承認する場合があります。 ※本誌等記載の個人名は印刷ミスです。  
※チケットで会場へお越しの際は、会場に必ずクラシック名古屋までお問合せください。 ※U25(25歳以下)はクラシック名古屋(電話)のみ販売し、東海テレビ放送には販売しません。

# Wiener Ring-Ensemble

New Year Concert 2020

## ウィーン・リング・アンサンブル

ニューイヤー・コンサート2020

J.シュトラウス2世:オペレッタ「ジプシー男爵」序曲  
ヨーゼフ・シュトラウス:ワルツ「うわごと」  
J.シュトラウス1世:ジプシー・ギャロップ  
J.シュトラウス2世:エジプト行進曲  
ツィラー:ワルツ「ウィーン船」  
ヨーゼフ・シュトラウス:ジョッキー・ポルカ

ベートーヴェン:メドレー (生誕250年記念)  
J.シュトラウス:ワルツ「酒、女、歌」  
ツィラー:ブドウ畑のギャロップ  
J.シュトラウス2世:謝肉祭のための大カドリユー  
ランナー:ワルツ「求婚者たち」  
ヨーゼフ・シュトラウス:スポーツ・ポルカ

2020. **1.4** SAT 愛知県芸術劇場コンサートホール

SY8,500 AY6,500 BY4,500 CV3,500 (全席指定+税込) 主催:テレビ愛知 協力:クラシック名古屋

【プレイガイド】

クラシック名古屋 052-678-5310 チケットぴあ 0570-02-9999(予約) 184-1633 英文プレイガイド 052-972-0430  
アイ・チケット 0570-00-5310 ローンチケット 0570-084-004(予約) 434844 家フレチケット 052-963-0777  
canago.com/vi-ticket/ 名鉄ホールチケットセンター 052-561-7755 イープラス eplus.jp

お問い合わせ:テレビ愛知事業部 052-243-8600 • クラシック名古屋 052-678-5310



奏でる人を聴きたい人へ 人と音を結ぶ

# クラシック名古屋

052-678-5310

金山総合駅 南口より徒歩3分

名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル1F



### 様々な奏法、美しい音色に触れ

ハーブ・デュオ

優しく美しいハーブの音色に聴きほれたのが、田中敦子・山地梨保デュオリサイタル(9月28日・HITOMIホール)。

田中と山地は愛知県立芸大の先輩と後輩。ハーブ



数ある楽器の中でも、ハーブの弦の美しさはトックラス。初めて聴く曲でも十分楽しめる。多彩な音のトゥルニエ「4つのプレリュード」、「テクニックを駆使するアンドレ「パルビス」、そしてトゥルネチェック「2台ハーブ」。


プのための作品<sup>23</sup>」はインパクトがあった。ただ美しいだけでなく、さまざまな奏法や音色に触れ新たなハーブの魅力を知ることができた。次は1月11日午後2時、池下駅南のスタジオ・ハルで。

### 巧みに「音を描く」試みを達成

ピアノ・戸谷誠子

戸谷誠子のピアノ・リサイタル(10月2日・電気文化会館)。「音を描く」をテーマにした今回も期待通りの内容だった。

前半はショパンが中心で「ノクターン」第4番、「ノクターン」第13番と「ソナタ第2番」。ノクターンはしっとり、ソナタは快活なテンポで、全体によく構成され、まとまっていた。



### 若きブラームスの傑作を満喫し

アンディアーモ

アンディアーモによるブラームスの室内楽シリーズ第10回は「シューマンの思い出」(10月14日・電気文化会館)。

若きブラームスのロマンあふれる傑作を満喫した。幕開けは「シューマンの主題による変奏曲」作品23「ゲストの奥村理恵と

く、多彩な音色でリズムカル、抒情的な部分もある。その特色をよくつかみ、曲想をうまく表現していた。音を描くことに、最も成功したのがこの曲ではないか。

戸谷は内的、静的な演奏スタイルと想っていたが、それより、音がシンパルで余分なものがない、と言ったほうがいい。

最後の「弦楽六重奏曲 第一番」は、ブラームスの室内楽でも屈指の美しさ。ヴァイオリン古井、綾川智子、ヴィオラ石川園



### フォレスト

コンサート名古屋

12月3日(火)

5,500 3,500 1,000

クラシック名古屋 052-678-5310

### Jürnjakob Timm

Cello Recital

12/6

クラシック名古屋 052-678-5310

### 三浦一馬&上野耕平

スーパーデュオ

12/8

クラシック名古屋 052-678-5310

### La Diva

2019年12月14日(土)

17:30開演 18:00開演

クラシック名古屋 052-678-5310

### ラヴェルの夕べ

12/20

クラシック名古屋 052-678-5310

### ウィーン・フォルクスオーパー

交響楽団

2020.1.11

クラシック名古屋 052-678-5310

クラシックコンサートのチケットは

# アイ・チケット 0570-00-5310

(10:00~17:00 ※日祝休み)

アイ・チケット web 検索

※好きな時間にお好きな席を選んでクリック!! カード決済・コンビニでのお支払いができます。

クラシック名古屋のプレイガイド「アイ・チケット」

多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のことでオペレーターが丁寧に対応いたします。ホームページからもチケット購入ができる、便利なクラシック専門のプレイガイドです。

